

**(仮称) 千葉市こども基本条例の制定に関するアンケート調査 (30歳以上～)****【アンケートの目的】**

千葉市では、すべてのこども・若者が健やかに成長するために、困難な状況にある場合は必要な支援を受け、また、こどもや若者の意見をまちづくりに反映するためのルール等を盛り込んだ「こども基本条例」の制定に向けて検討を行っています。

条例に多くの方の意見を反映するために、アンケートへのご協力をお願いします。

**【基本項目】**

問1 あなたの年齢について

- 1 30歳～39歳   2 40歳～49歳   3 50歳～59歳   4 60歳～69歳  
5 70歳以上

問2 養育経験の有無について

- 1 現在こどもを養育している。又は養育した経験がある。  
2 こどもを養育したことはない。

**【こどもの権利】**

1989年に国連総会で採択された「児童の権利に関する条約（こどもの権利条約）」では、こどもが、生まれながらもっている4つの大切な権利として以下の権利をあげています。

**①生きる権利**

住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなどして、命が守られる

**②育つ権利**

勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できる

**③守られる権利**

紛争に巻きこまれず、難民になったら保護され、暴力や搾取、有害な労働などから守られる

**④参加する権利**

自由に意見を表したり、団体を作ったりできる

問3-1 あなたはこどもの権利条約について、聞いたことがありますか。

- 1 聞いたことがあり、内容もある程度知っている。  
2 聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている。  
3 聞いたことはあるが、内容はわからない。  
4 聞いたことがない。

問3-2 問3-1で1、2、3と回答した方は、どうやって聞いたり知ったりしましたか。

ア イベントや講演会など    イ 市のホームページ    ウ 家族や友達から

エ テレビ・新聞などの報道    オ インターネット情報

カ その他

--

キ わからない

問4 こどもの権利について、あなたが日常の生活で感じていることを1～3の項目について下記ア～ウを選んで記入してください。

ア とても守られている

イ 守られている

ウ まもられていない

1 生きる権利 (       )

2 育つ権利 (       )

3 守られる権利 (       )

4 参加する権利 (       )

問5 こどもの権利条約における4つの権利以外で、こどもにとってあなたが必要と思う権利があればお答えください。

--

問6 こどもの権利全体について、現在あなたが感じていることを1つ選んでください。

1 こどもの権利は十分に守られていないと思う。

2 現在こどもの権利は守られており、現状のままで問題はない。

3 全体的にこどもの権利に対する意識が高くなりすぎており、むしろこどもに悪影響が出ていると思う。

問7 こどもが健やかに育つために市として取組みが必要だと思うことを、優先度の高いものから3つ選んでください。

- ア こどもをあたたく見守る大人の存在
- イ 保護者に対する養育支援
- ウ 地域住民等による見守り支援の充実
- エ しつけ
- オ 障害の有無などこどもの特性に応じた支援
- カ 不登校児童生徒に対する理解促進やフリースクールへの支援
- キ ひきこもり対策
- ク 里親制度など、養育する大人のいないこどもに対する支援
- ケ こども自由に過ごすことができる居場所の確保
- コ 保護者やこどものための相談体制の充実
- サ 家庭や学校等で権利の侵害をうけているこどものための救済措置の強化
- シ 家庭の貧困やヤングケアラーなど、困難な状況に置かれたこどもに対する支援
- ス 声をあげることができないこどもの意見を聞くための取組み
- セ その他（自由筆記）

### 【こどもの意見表明と社会参画】

問8 こどもが自分の気持ちを話すために重要だと思うことを1つ選んでください。

- 1 こどもの意見に耳を傾ける大人の存在
- 2 こどもが意見を形成するために、こどもの権利など必要な情報を伝えること
- 3 こどもが積極的に意見を話せる機会・場所
- 4 その他

問9 学校の運営やまちづくりにこどもの意見を取り入れることについて、あなたの考えに近いものを1つ選んでください

- 1 こどもは発達段階にあり未熟なので、意見を聞かなくてもよい
- 2 基本的には大人が決めることではあるが、こども自身に関わることは意見を聞いたほうがよい。
- 3 こども自身に関わることでなくても、大人は積極的にこどもの意見に耳を傾ける必要がある。

問 10 あなたが生活をする中で、1～3 の項目について下記ア～ウを選んで記入してください。

ア 差別をととても感じる

イ 差別を少し感じる

ウ 差別を感じない

1 性別 ( )

2 障害の有無 ( )

3 国籍・民族 ( )

問 11 性別、障害の有無、国籍・民族の他に、あなたが考えるこどもが生活する中で直面する差別や格差があればお答えください

--

問 12 こどもが生活する中で直面する差別や格差の解消について、あなたの考えをお答えください

--

問 13 あなたと地域のこどもとのかかわりについてすべて選んでください。

ア あいさつをする

イ こどもに不審な様子が見られた場合は声掛けをする

ウ こどもに関するボランティア活動をしている

エ どれもしていない

問 14 こどもの権利条約では、児童に対し措置を講じる場合は「児童の最善の利益」を考慮することとしています。こども・若者の最善の利益を図るために必要と思うことについてお答えください。

--